

サービス見込量の進捗管理のための作業シート

計画値：平成30年度 実績値：平成30年度末

ステップ1.認定率の比較（計画値－実績値）

年齢階級	計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
前期高齢者	3.90%	6.17%	△ 2.27%	性・年齢・要介護度別の差異を確認したところ、計画値に比べ、男性全般の認定率が増加していた。将来推計に用いた実績値（平成29年度）の妥当性に関しては、同様の伸び率を示していたため問題はないと考えられるが、地域支援事業等の男性への施策が不十分である可能性が考えられるため、介護予防教室等への参加率等を確認する。
後期高齢者	25.54%	22.69%	2.85%	性・年齢・要介護度別の差異を確認したところ、計画値に比べ、男女ともに重認定率が重度化（男：要支援1減少→要介護2増加、女：要介護1～3減少→要介護4・5増加）していた。将来推計に用いた実績値（平成29年度）の妥当性に関しては、大きな差異が見られる要介護度以外は同様の傾向を示しているため問題はないと考えられるが、伸び率の複数年比較することで妥当性を確認する。

ステップ2.受給率の比較（計画値－実績値）

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	1.44%	1.09%	0.35%	平成29年度実績値と平成30年度計画値を比較した場合、大きな乖離は確認できないため、計画値の妥当性に問題はない。受給率全体が減少しており特に通所系サービス・福祉用具貸与・居宅介護支援（予防支援）が大きく減少している。サービス未利用の増加が要因として考えられるため、未受給者割合の比較により確認する。
	訪問入浴介護	0.09%	0.11%	△ 0.02%	
	訪問看護	0.65%	0.63%	0.02%	
	訪問リハビリテーション	0.03%	0.01%	0.02%	
	居宅療養管理指導	1.44%	1.23%	0.21%	
	通所介護	3.26%	2.36%	0.90%	
	通所リハビリテーション	1.47%	0.80%	0.67%	
	短期入所生活介護	1.26%	0.87%	0.39%	
	短期入所療養介護（老健）	0.00%	0.01%	△ 0.01%	
	短期入所療養介護（病院）	0.00%	0.00%	0.00%	
	福祉用具貸与	4.87%	3.58%	1.29%	
	特定施設入居者生活介護	0.65%	0.45%	0.20%	
地域密着型	定期巡回・随時対応型	0.00%	0.00%	0.00%	
	夜間対応型訪問介護	0.00%	0.00%	0.00%	
	認知症対応型通所介護	0.00%	0.00%	0.00%	
	小規模多機能居宅介護	0.00%	0.00%	0.00%	

	認知症対応型共同生活介護	0.24%	0.16%	0.08%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.00%	0.00%	0.00%
	地域密着型介護老人福祉施設	0.00%	0.00%	0.00%
	看護小規模多機能型居宅介護	0.00%	0.00%	0.00%
	地域密着型通所介護	1.62%	0.94%	0.68%
施設サービス	介護老人福祉施設	1.53%	1.11%	0.42%
	介護老人保健施設	0.65%	0.57%	0.08%
	介護医療院	0.00%	0.00%	0.00%
	介護療養型医療施設	0.03%	0.03%	0.00%
介護予防支援・居宅介護支援		7.76%	5.82%	1.94%

ステップ3.受給者1人あたり給付費の比較（計画値－実績値）

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因や その確認方法
居宅サービス	訪問介護	59,739 円	56,689 円	3,050 円	【訪問看護・短期入所療養介護（老健）】 計画値が平成29年度実績値と大きな乖離が生じており、計画値に用いた伸び率に誤りがある可能性があるため、数値の妥当性を確認する。
	訪問入浴介護	58,306 円	68,016 円	△ 9,710 円	
	訪問看護	118,137 円	53,094 円	65,043 円	
	訪問リハビリテーション	35,250 円	42,802 円	△ 7,552 円	
	居宅療養管理指導	11,461 円	11,998 円	△ 537 円	
	通所介護	87,021 円	93,332 円	△ 6,311 円	
	通所リハビリテーション	70,689 円	70,979 円	△ 290 円	【認知症共同生活介護】 実績値が大きく増加している。要介護度が高い入所割合の一時的な増加が要因として考えられるため、複数年比較するとともに、現在の入所者の要介護度割合等を確認する。
	短期入所生活介護	117,776 円	113,926 円	3,850 円	
	短期入所療養介護（老健）	#DIV/0!	94,261 円	△ 94,261 円	
	短期入所療養介護（病院）	0 円	0 円	0 円	
	福祉用具貸与	11,028 円	12,849 円	△ 1,821 円	
	特定施設入居者生活介護	178,179 円	176,701 円	1,478 円	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0 円	0 円	0 円	
	夜間対応型訪問介護	0 円	0 円	0 円	
	認知症対応型通所介護	0 円	0 円	0 円	
	小規模多機能居宅介護	0 円	0 円	0 円	
	認知症対応型共同生活介護	240,042 円	291,152 円	△ 51,110 円	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0 円	0 円	0 円	
	地域密着型介護老人福祉施設	0 円	0 円	0 円	
	看護小規模多機能型居宅介護	0 円	0 円	0 円	
	地域密着型通所介護	103,938 円	107,508 円	△ 3,570 円	
施設サービス	介護老人福祉施設	242,329 円	250,293 円	△ 7,964 円	
	介護老人保健施設	266,455 円	277,287 円	△ 10,832 円	
	介護医療院	0 円	0 円	0 円	

	介護療養型医療施設	368,000 円	350,210 円	17,790 円	
	介護予防支援・居宅介護支援	12,447 円	12,652 円	△ 205 円	

ステップ4.サービス提供体制に関する現状と課題

特になし

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	サービス利用見込み量の推計・コミュニティ等の充実
------	--------------------------

現状と課題				
全国及び愛知県などに比べ、訪問系サービスの給付費が低く、通所系サービスの給付費が高い要因としては、コミュニティ不足や介護者支援不足の影響により、利用者の外出機会が減少し、介護者のレスパイトケアを目的とした「通所介護」「地域密着型通所介護」「短期入所生活介護」サービスの利用が高いためではないかと推測される。コミュニティや介護者支援策と通所系サービスの相関性が高いと仮定した場合、コミュニティの充実等により本町の問題が解消されるのではないかと考えられる。 また、同様に施設及び居住系サービスの給付額が比較的多く、調査結果においても、認定者の約3割の人が施設などへの入所・入居を「検討している」又は「すでに入所入居申し込みをしている」状況であることを踏まえ、供給量を踏まえた適切な施設整備が課題となる。				
第7期における具体的な取組				
・住民を主体としたサロン活動の推進 ・ボランティア活動の推進を目的としたボランティアポイント制度の創設 ・サービス提供体制確保を行えるよう、要因分析や適切な推計を行い、必要に応じて供給量を踏まえた施設整備等を行う。				
目標（事業内容、指標等）				
・ボランティアポイント制度の創設 ・ニーズ調査等にて以下の項目に係る目標値達成				
項目	分子	分母	実績値 (平成29年度)	目標値 (平成32年度)
介護・介助が必要な未認定者率	誰かの介護・介助が必要な人	対象者全員	15.9%	13%未満
15分以上歩くことができない率	15分以上歩くことができない人	対象者全員	21%	21%未満
一人で外出していない人	1人で外出していない人	対象者全員	7%	5%未満
介護・介助が必要で1人で外出していない人	1人で外出していない人	介護・介助が必要な方	50%	25%未満
転倒率			29%	25%未満
転倒歴があり、かつ外出回数が減っている率	転倒歴があり、かつ外出回数が減っている人	対象者全員	13%	10%未満
転倒不安があり、かつ外出回数が減っている率	転倒不安があり、かつ外出回数が減っている人	対象者全員	21%	20%未満
15分以上歩行可能なのに外出が週1回未満の率	15分以上歩行可能なのに外出が週1回未満の人	15分以上歩行可能な人	2%	2%未満
社会活動なし	ボランティア、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、学習・教育サークル、老人クラブ、町内会、自治会、収入のある仕事のいずれに	対象者全員	50%	25%未満

目標の評価方法

- 時点
 - ☒ 中間見直しあり
 - ☐ 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ ボランティアポイント制度は創設できたか。
 - ・ ニーズ調査等にて目標値に向け推移しているか。
 - ・ 毎年度のサービス見込量の進捗管理を通して、計画値等との乖離はないか。乖離がある場合、地域支援事業等施策の影響はあるか。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	平成30年度
----	--------

前期（中間見直し）

実施内容
・ ボランティアポイント制度の創設 ・ 「地域分析・検討結果記入シート」を活用した全国平均等との乖離理由・問題点等の考察
自己評価結果【○】
・ ボランティアポイント制度を創設した。 ・ 「地域分析・検討結果記入シート」にて問題点等の考察（仮説）を設定したが、検証にまで至らなかった。
課題と対応策
「地域分析・検討結果記入シート」及び「サービス見込み量の進捗管理のための作業シート」に記載した問題点の要因検証を行う。

後期（実績評価）

実施内容
・ ボランティアポイント制度の創設 ・ 「地域分析・検討結果記入シート」を活用した全国平均等との乖離理由・問題点等の考察
自己評価結果【○】
・ ボランティアポイント制度を創設した。 ・ 「地域分析・検討結果記入シート」にて問題点等の考察（仮説）を設定したが、検証にまで至らなかった。
課題と対応策
「地域分析・検討結果記入シート」及び「サービス見込み量の進捗管理のための作業シート」に記載した問題点の要因検証を行う。